2026年度

文化の森人権啓発展

―識字活動を中心として―

1990年の国際識字年に引き続き、2003年から2012年までの10年間が「国連識字の10年」として、国連総会において決議されました。国際識字年を契機として、識字問題は日本のような先進国でも存在することが再確認され、単に開発途上国だけの問題でないことが明らかとなりました。

部落差別などで奪われた文字を取り戻すために、現在、県内各地で識字学級が開設され、熱心な取組が展開されています。識字学級の営みは、文字を学び言葉を取り戻すことにとどまらず、人間の誇りある生き方を示すものであり、人権問題解決のための啓発という点でも大きな役割を果たしています。

私たちは、この営みに真摯に学び、様々な人権問題の解決に努めなければなりません。

21世紀は人権の世紀といわれておりますが、文化の森ではすべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、識字学級で学ぶ方々の思いを込めた作品を展示いたします。

●展示　識字学級生の作品、人権啓発パネル、識字・人権啓発図書

とき　2026年11月18日（水）から11月23日（月・祝）まで
午前9時30分から午後5時まで

場所　徳島県文化の森総合公園　近代美術館ギャラリー

入場無料

●主催　徳島県立図書館・博物館・近代美術館・文書館・21世紀館
鳥居龍蔵記念博物館・徳島県教育委員会人権教育課

問合せ先：徳島県立二十一世紀館
TEL088-668-1111